クラブ＆サークル

友と出会う、自分と出会う

感動も悔しさも共有できる、生涯の仲間と出会えるクラブ活動。
目標に向かって壁を乗り越えていく中で
知らなかった自分との出会いも待っています。

詳しくはこちら！

■ 馬術部	■ 合気道部
■ 男子ハンドボール部	■ 男子ラクロス部
■ 女子ハンドボール部	■ 女子ラクロス部
■ 男子バスケットボール部	■ 空手道部
■ 女子バスケットボール部	■ 男子フットサル部 SIMONS
■ 男子バレーボール部	■ 女子フットサル部 SIMONNA
■ 女子バレーボール部	■ ダンス部
■ ラグビー部	■ 軟式野球サークル TEAM HECTOL
■ サッカー部	■ スポーツ同好会 Cui Bono?
■ 体操競技・新体操部	■ バドミントンサークル 豚豚豚
■ 陸上競技部	■ テニス系サークル クレッシェンド
■ 水泳部	■ ストリートダンスサークル 飛燕
■ 剣道部	■ バレーボール同好会
■ 硬式野球部	■ 愛知キャンプカウンセラー協会 ACCA
■ 準硬式野球部	■ バスケットボールサークル BISKET
■ 硬式庭球部	■ フットサルサークル 愛蹴
■ ソフトテニス部	■ バドミントンサークル もちのき
■ バドミントン部	■ バスケットボールサークル JET sky
■ 卓球部	■ ソフトテニスサークル 愛なんテ
■ 洋弓部	■ 水泳同好会
■ 弓道部	■ 硬式テニスサークル MILK POT
■ ワンダーフォーゲル部	■ ハンドボールサークル HAND★MADE
■ 柔道部	■ 陸上サークル BABY FACE
■ スキー部	■ 卓球サークル ぴんぽーず
■ 男子ソフトボール部	■ ボルダリングサークル ぼるきゃん
■ 女子ソフトボール部	

※2023年3月現在

■ 管弦楽団	■ 子ども会サークル レクリエーションクラブ
■ 吹奏楽団	■ オカリナサークル TOTORO
■ 混声合唱団	■ 学内猫の里親探し Kat Power
■ 軽音楽部	■ 能楽部
■ 茶道部	■ 聖書研究会 by the Bible II
■ 書友会（書道部）	■ 音楽サークル SPOON
■ 子ども向け人形劇サークル じゃんけんぽん	■ 現代視覚文化研究会
■ フォークソング部	■ ミュージカルサークル ミュリム
■ 漫画研究会	■ 写真サークル RAW
■ 劇団把°夢（パム）	■ セクシュアルマイノリティ啓発団体 BALLoon
■ 国際交流サークル K.F.A	■ ラジオサークル あうぇらじ
■ アナログゲーム同好会 TRPG冒険者の宿	■ 愛教大語らいの場
■ 天文愛好会 CORE	■ かきつばたの民
■ 訪問科学実験 わくわく	■ 競技かるた部「やへさくら」
■ 手話サークル くるくる	■ 共生のための語り合いサークル「リアル。」
■ 文芸サークル 胡蝶	■ 愛教大ポケモンサークルゆびをふる
■ アカペラサークル Premier	■ お金の勉強サークル「village」
■ 映像制作研究会	■ PVPゲーム同好会
■ 手芸サークル CRAFT	■ 愛知教育大学地歴サークルPhalanx
■ 落語研究会	■ smile cooking☆

※2023年3月現在

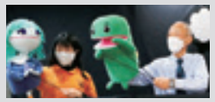
Pick up Club

人形劇サークル
じゃんけんぽん

野田敦敬学長のクラブサークル訪問

野田学長がクラブやサークルを訪問して学生と
交流したり活動を体験したりするシリーズ企画。
今回の訪問は人形劇サークル「じゃんけんぽん」です。

訪問の様子



人形劇サークル「じゃんけんぽん」が参加する本学ならではの恒例イベント「冬の子どもまつり」に上演する作品のリハーサルに野田学長が参加しました。先ずは部員たち手作りの人形たちに迎えられて記念撮影。
野田学長が好きな色、グリーンの人形「かいじゅうくん」を手に取り、学生から動かし方のレクチャーを受けました。「片手で口を動かし、片手は棒を持って手を動かしながら台詞をしゃべる。これは難しい！」と戸惑いながらも、徐々にスムーズに動くようになり「かいじゅうくん」にも生き生きとした表情が出てきて、学生たちからも拍手が・・・。
最後に学生たちが子どもまつりに上演する作品「お星さまが落ちてきた！」を披露してくれました。野田学長は「みんなの台詞を言う表情がそのまま人形の顔に出ているね。素晴らしい！」と絶賛。
本番は黒子になって顔を隠しているので演者の表情を見られないのが残念です。
野田学長が愛知教育大学に在籍していたころからあるという歴史ある人形劇サークル「じゃんけんぽん」のこれからの活躍に期待です。

■ 学長からのコメント

今日皆さんの活動の様子を見て、私が小学校の先生だったころ、道徳の授業でペープサート劇（ウチワ型紙人形劇）をやったことを懐かしく思い出しました。先ほどは私の好きな色、グリーンの「かいじゅうくん」で人形の動きを体験させてもらいました。初めてやりましたが良い経験になりました。ありがとうございました。
またオリジナルで台本から全部作っていると聞いて、本当に全部が手作りなんだなと大変驚きました。先ほど劇を見せていただきましたが、皆さんが台詞に合わせて人形の気持ちになって表情豊かに動かしているところにたいへん感心しましたし、だからこそ子どもたちに伝わるんだなと思いました。
皆さんが先生になった時に、一人ずつにはなるけれど、その人形で子どもたちを引き付けることができると思いますので、ますます技を磨いてください。
それから今後も「あつまれ！子どもキャンパス」を計画していますので、参加して子どもたちを喜ばせていただきたいと思います。部員が増えてもっと大々的に活動できることを期待しています。

■ 部員へのインタビュー

Q：活動のスケジュールは？
A：水曜日の午後と土曜日の週2回です。
Q：人形劇の公演は年間どれくらいありますか？
A：学外公演が10回、学内イベントへの参加が5回くらいです。学外では乳幼児が対象で、学内イベントは小学生を対象に上演しています。
Q：作品数は？
A：乳児向けのものが5作、幼児向けが2作です。企画から脚本まで自分たちで作ります。
Q：では人形も自分たちで？
A：はい。自分のイメージしたキャラクターを実際に形にしていくのは難しい作業ですし、人形のフォルムは単純でも目の位置などによって表情が随分変わるので、部員たちで話し合って試行錯誤しながら作っていくのは楽しいです。完成までには3カ月くらいかかります。
Q：部員数は？
A：7人です。1年生がいないので募集中です。
Q：大学が進める取り組み「子どもキャンパスプロジェクト」にも積極的に参加していますね。
A：コロナ禍で今までより公演する機会が減ってしまっていたところ、大学から「子どもキャンパスプロジェクト」の募集があったので第1回から参加しました。学外の公演では乳幼児が対象ですが、子どもキャンパスで小学生対象に公演できるので良い経験になりますし、サークルのPRもできるのでこれからも参加していきたいです。
Q：高校生にメッセージをどうぞ。
A：子どもの前で話すという経験を楽しみながらできるし、将来教員になった時にも生かせるスキルを身に付けることができます。大学生になって新しいことを始めたいと思っている皆さんにおすすめです。入部をお待ちしています。